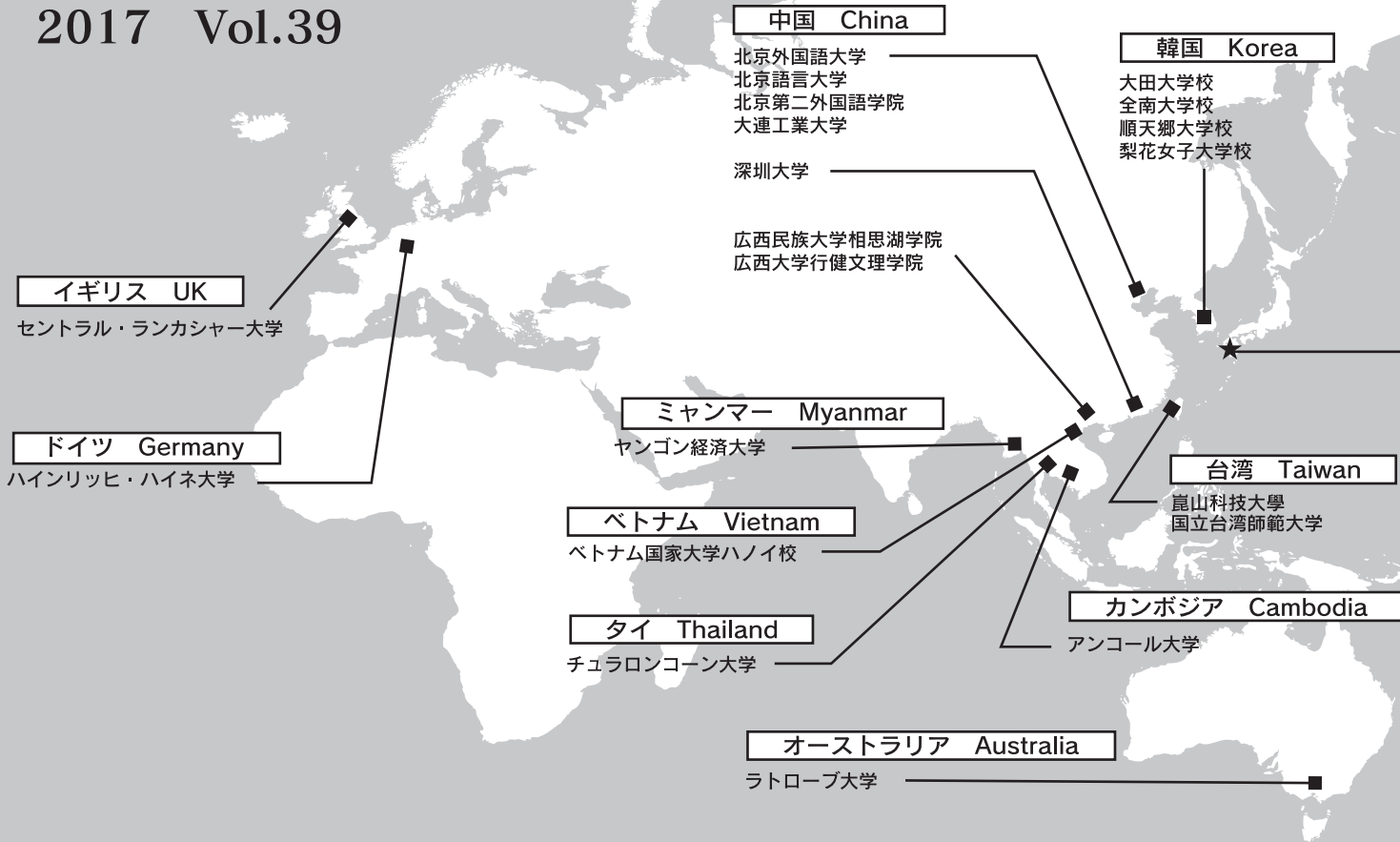


国際交流レター

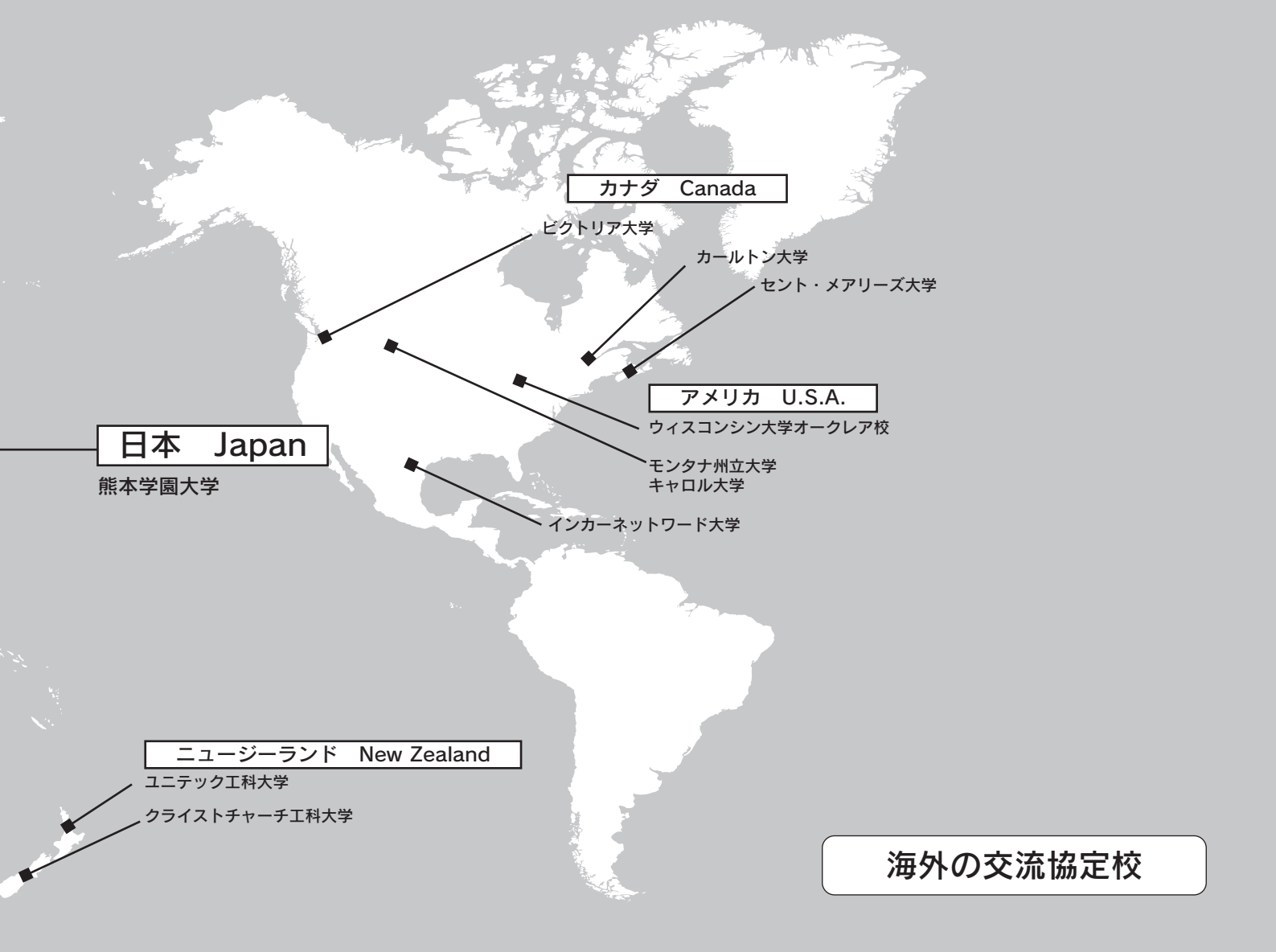
2017 Vol.39





目次

巻頭言	国際交流委員長 カーク・マスデン	2
TOPICS	第 27 回外国人留学生弁論大会 海外就業体験プログラム 台湾・崑山科技大學から副学長一行が来学 韓国・大田大学校から学生訪問団が来学 JENESYS2017 ソロモン諸島、パプアニューギニアから学生訪問団が来学 海外職業体験プログラム体験談	3
交換教員	申 宰 秀 (韓国・大田大学校) 李 健 (中国・深圳大学) 邵 铁 峰 (中国・深圳大学)	6
熊本での生活を振り返って	Casu, Lisa (社会福祉学科 3 年) Mohammed, Gabriel (英米学科 3 年) 林 洵 鎬 (商学科 4 年) 周 洋 帆 (経営学科 2 年) 謝 佳 蓉 (経済学科 4 年) Nguyen Bich Phuong (ホスピタリティ・マネジメント学科 3 年)	9



留学体験記～私が見つけた新しい目標～

12

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 進 未来 (英米学科 4 年) | 吉里優律南 (英米学科 4 年) |
| 堀井 咲希 (英米学科 4 年) | 山浦公太郎 (ライフ・ウェルネス学科 5 年) |
| 平山 絢梨 (東アジア学科 3 年) | 神田 蒔子 (東アジア学科 4 年) |
| 春日 佑介 (東アジア学科 5 年) | 山中 千春 (ホスピタリティ・マネジメント学科 4 年) |
| 西島 絢香 (ホスピタリティ・マネジメント学科 4 年) | |

サマープログラムに参加して

16

- 塩塚 莉子 (ホスピタリティ・マネジメント学科 2 年)

DATA

- | | | |
|-----------------|----------------|----|
| 平成 29 (2017) 年 | 海外往来 | 17 |
| 平成 29 (2017) 年度 | 研修団往来 | |
| 平成 29 (2017) 年度 | 海外への派遣学生数 | |
| 平成 29 (2017) 年度 | 出身国・地域別外国人留学生数 | |

PHOTO GALLERY

20

DATA

- | | | |
|-----------------|------------|----|
| 平成 29 (2017) 年度 | 留学生の主な参加行事 | 22 |
|-----------------|------------|----|



4年間を振り返って

国際交流委員長 カーク・マスデン

私は2014年の4月から今年の3月まで、国際交流委員長として本学の国際交流プログラムに関わってきました。そこで任期中に取り組んできたことを振り返りたいと思います。

任期中に課せられた仕事の1つは、大学の国際交流ビジョン案をまとめることでした。検討の結果、「学内の国際化」と「学生の海外留学の促進」、「海外大学等との連携」をめぐる目標を掲げることになりました。ここでこれら三つの目標に、どのように取り組んできたのかをご説明したいと思います。

まず、「学内の国際化」については、外国人留学生数を大幅に増やすことを目標にしました。「学内の国際化」との表現には、単なる「留学生の増加」ではなく、留学生の貢献への期待を込めています。留学生との交流は、日本人学生にとっても成長の重要な機会となります。そのような期待を込めて、国際交流委員長になってまず進めたのは、留学生寮である国際交流会館に、数名の日本人学生に入ってもらったことでした。この4年間に、12人の日本人学生を寮に住ませ、留学生を支援しながら、国際感覚を磨く機会を提供することができたことは大変嬉しく思います。

また、受け入れる留学生を増やす方法の一つとして、従来の相互交換留学に加えて、受け入れのみの「相思湖型」を拡大してきました。これは前委員長の司馬公周先生が開拓した受け入れ方式で、「相思湖型」という呼称はこの形態の交流に最初に合意した大学が、中国の広西民族大学相思湖学院であったことに由来します。私の任期中には相思湖学院に加えて、広西大学行健文理学院や大連工業大学から合計36名の学生を「相思湖型」で受け入れてきました。

次に、「学生の海外留学の促進」の目標に向けて「短期認定留学制度」を設けました。この制度では、従来のプログラムと違って、学生が自主的に受け入れ大学との連絡等を行った上で渡航するなど、学生の主体的な取り組みに重きを置いています。この制度による派遣学生はこれまで8名です。今後、派遣先を増やし、プログラムを更に充実していければと思います。

さらに、2017年度に「海外就業体験プログラム」を設立し、8月には6名の学生が一週間ほど、香港で行われたフードフェスティバルで杉養蜂園の実習生として体験を積むことになりました。英語や中国語を使いながら、展示場での商品説明等を通してコミュニケーション能力を磨き、国際的に活躍する杉養蜂園の実務や商流に対する理解を深めることができました。帰国した学生は異口同音に素晴らしい体験だったと絶賛していました。極めて有益な機会を提供してくださった杉養蜂園の皆様には、この場を借りて改めてお礼を申し上げます。

最後に、「海外大学等との連携」については、任期中に韓国の全南大学校、中国の広西民族大学相思湖学院、広西大学行健文理学院、大連工業大学と協定を結ぶことができました。しかし、英語圏の大学との交流を拡大することができなかったことは残念に思っています。

任期中に学内外の多くの方々にお世話になりました。心からお礼を申し上げるとともに、今後とも熊本学園大学の国際交流を応援していただきますよう、お願い申し上げます。

第27回外国人留学生弁論大会

6月17日（土）に毎年の恒例行事である外国人留学生弁論大会を開催しました。本大会は、本学に在籍する外国人留学生が、彼らの日本語能力の向上を図ると共に日本人との相互理解を深めることを目的としています。今回は4カ国8名の留学生が出場し、それぞれの思いを緊張しながらも練習を重ねた素晴らしい日本語で堂々と発表しました。会場には、学生、教職員及び地域の皆さんが来てくださり、留学生たちの発表に聞き入りました。

最優秀賞に選ばれたのは、韓国からの交換留学生、李政垠さんでした。李さんは留学生活の中で気づいた日本人の些細な気配りについて発表しました。駐車場のスペースが広い理由やレジでの店員さんの丁寧な対応は相手の事を何度も考えた結果であり、そのちょっとした気配りで人の心は動かされるのだと自分の意見を述べました。また優秀賞とオーディエンス賞に輝いたベトナムからの留学生、Nguyen Bich Phuongさんは、「いらっしやいませ」にはいくつかのタイプがあり、中でも一番好きなのは笑顔で元気な声での「いらっしやいませ」だと発表しました。また、同じく優秀賞の中国からの留学生、周洋帆さんは「大好きな着物と漢服」とのタイトルで、中国の漢服と日本の着物の文化について述べました。

と発表しました。また、同じく優秀賞の中国からの留学生、周洋帆さんは「大好きな着物と漢服」とのタイトルで、中国の漢服と日本の着物の文化について述べました。



＜後方左から＞陳宇澄社会福祉学部教授（審査員）、イム ヒョンホ、カーク・マステン国際交流委員長、川田亮一商学部准教授（審査員）
 ＜前方左から＞チェ ジョンミン、コウ ホウジヨ、シャ ケイヨウ、ソウ カギ、シュウ ヨウホ、グエン ビク フオン、イ ジョンウン

審査結果

最優秀賞	東アジア学科4年	イ ジョン ウン 李 政 垠	（韓国）日本の些細な気配り
優秀賞	ホスピタリティ・マネジメント学科3年	グエン ビク フオン Nguyen Bich Phuong	（ベトナム）日本で経験した「いらっしやいませ」
	経営学科2年	シュウ ヨウ ホ 周 洋 帆	（中国）大好きな着物と漢服
敢闘賞	経営学科3年	コウ ホウ ジョウ 黄 宝 茹	（中国）日本語の苦しみと楽しみ
	商学科4年	イム ヒョン ホ 林 滋 鎬	（韓国）日本刑法を変えた尊属殺害事件
オーディエンス賞	ホスピタリティ・マネジメント学科3年	グエン ビク フオン Nguyen Bich Phuong	（ベトナム）日本で経験した「いらっしやいませ」

海外就業体験プログラム

（株）養蜂園が出展する香港フードエキスポ2017のブースに、海外就業体験プログラムとして2017年8月15日から8月22日にかけて、6名の学生を派遣しました。海外就業体験プログラムは、本学の学生が、海外で働く体験を通して、コミュニケーション力の向上を図り、就職活動が本格的に始まる前に、海外で働くことについて考える機会を提供することを目的とし今年度より開始しました。今回が初めての実施でしたが、プログラムの魅力のひとつである商流、実際に熊本にある商品が香港の港に到着し、展示会場まで輸送され、ブース内で在庫管理を行うといった、貿易業務の一連の流れを体感できました。また香港フードエキスポでは、世界中から商品、特産物、バイヤーが集まるため、非常に熱気に包まれ普段体験できない貴重な経験となりました。





台湾・崑山科技大學から副学長一行が来学

7月27日(木)、台湾・崑山科技大學から李天祥副学長一行が本学を訪れ、幸田学長への表敬訪問を始め、両大学間における交流の発展の可能性について協議を行いました。

崑山科技大學と本学は、2010年1月に大学間交流協定を結び8年になりますが、この間交換留学生の往来は、崑山科技大學から9名の学生を受入れ、本学からは3名の学生を派遣しています。今後ますます往来が活発になることが期待されます。



韓国・大田大学校から学生訪問団が来学

11月15日(水)、大田大学校より慶益秀先生を団長とする10名の学生研修団を受け入れました。訪問の目的は、異文化交流で、「両国の大学生生活・法律・文化の相違」、「J-POP、K-POP等を通しての文化交流」をテーマに大田大学校の2名の学生がプレゼンテーションを行い、その後本学の学生達と自由討論を行いました。最初は緊張して中々議論が進みませんでしたでしたが、徐々に打ち解け最終的には時間が足りないほど白熱した議論が繰り広げられ、交流会は成功裏に終了しました。団長の慶益秀先生は、1997年度の交換教員で、久しぶりの本学訪問で旧知の仲の目黒理事長らとの再会を非常に喜ばれていました。異文化交流後には歓迎夕食会を催し、参加者一同、両大学の学生達も含め非常に有意義な時間を過ごすことができました。



JENESYS2017 ソロモン諸島、パプアニューギニアから学生訪問団が来学

1月15日(月)、外務省の対日理解促進交流プログラムJENESYS2017の一環で、防災・復興について学ぶため、ソロモン諸島とパプアニューギニアから大学生・大学院生の訪問団28名が来学しました。

はじめに社会福祉学部福祉環境学科准教授の高木亨先生による「熊本地震と東日本大震災について」をテーマとした講演があり、続いて熊本市国際交流振興事業団事務局長、八木浩光氏による「熊本地震の時、在熊外国人たちは何を求めたのか」をテーマに基調報告がありました。二つの講演の後、訪問団は、本学の参加学生17名と一緒に6グループに分かれ、グループ毎にディスカッションが行われました。学生たちは、地震についての理解を深めると同時に、意見交換を通じて交流を図ることができました。





香港でのインターンシップの経験

外国学部英米学科4年 井田 千裕

【2017年8月15日～2017年8月22日 香港・海外就業体験プログラムに参加】

私は今年の8月15日から22日までの一週間、香港に滞在し杉養蜂園さんのインターンシップに参加させていただきました。私は高校生の頃から将来は海外と繋がりを持って仕事をしたいという気持ちが強く、大学でも英語を専攻し学んできました。しかし、海外を相手に仕事をしてみたいと言っても具体的なイメージがあったわけではなく漠然とした気持ちを持っていただけでした。はっきりとしたイメージを持つことが出来ないまま4年生になり、本格的に就職活動が始まりました。そんな中、今回の海外就業体験プログラムの話を聞き、海外で実際に働くことができる非常に貴重な機会で、このインターンシップに参加することで海外を相手に仕事をすることへのイメージを掴むことが出来るのではないかと思い応募しました。

インターンシップでの仕事内容は、香港で開かれる世界最大の食品展「フードエキスポ」において、来場者に対して、商品の説明をしたり試飲を勧めたりという接客がメインでした。初めの頃はどのように接客したらよいのか分からず上手くいかないことが多くありました。しかし、自分なりに考え、接客を繰り返すうちに、コツが掴めてきて少しずつ商品をアピールすることが出来るようになり、

実際に自分の接客で商品を購入してもらえた時はとても達成感がありました。また接客は基本的に英語で行うということと言語面での心配があったのですが、実際に来場者の方々と話してみると普段の生活ではなかなかできないようなリアルな英語でのやり取りを経験でき、とても勉強になり、今後英語の学習に更に力を入れていこうというモチベーションにも繋がりました。

また、滞在中は杉養蜂園の方々に食事に連れて行ってもらったり、現地を案内してもらったりと直接お話ができる機会が多くありました。その中で、日本と香港を行き来して仕事をしていたりする営業担当の方や人事担当の方ともお話をさせていただき、接客の現場を体験する以外にも勉強になる場面が沢山ありました。

今回のインターンシップは1週間という短い期間ではありましたが、毎日がとても刺激的で学ぶことも多かったです。このプログラムに参加したことで、私がこれから社会人となり、責任をもって仕事をする立場になるということを改めて認識できました。私にとっては非常に有意義な体験となり、参加して良かったと心から言えます。今回の経験を忘れずにこれからも頑張っていきます。



プログラムに参加したメンバーと
(筆者は左から2人目)



香港で一番美味しいと言われている点心屋さんでの一枚



縁

大田大学校 ^{シン}申 ^{ジェ}宰 ^ス秀

【2017年3月～2018年2月 韓国・交換教員】

熊本に到着した日が3月9日、大地震発生後11ヵ月が経つ時期だった。しかし、損壊した熊本城や熊本学園大学の建物、住んでいるマンションなどの復旧現場を見た時、どこも肅然としていて、心がとても残念でした。

私の専攻は固体電子工学であるが、大学院時代は日本で過ごした。交換教員として韓国語を教えるようになり、授業を通じて日本の学生らと交流を持つことになったのは二度目である。11年前は札幌で、今回は熊本で過ごしている。

日本人は平凡なことを特別に見る力(親切さ、思いやり)があるといつも思ってきたが、特に熊本は静かで、人々に親しみを感じ、余裕のある動きは他の都市では感じられない魅力があると感じている。

日本の学生を教えるというのは、文化的差異で緊張はするが、関心と愛情を持って教えていくうちに、学生たちも心を開いてくれた。春学期が終わる頃にはLINEを通じてやりとりをし、ビールを一緒に飲む時間を持った学生もいた。短い期間だったが、今後彼らが韓国語を学んで韓国の文化に接し、それをきっかけに韓国について関心を持つようになり、より深く学んでいくことを期待しているし、そのような学生が増えてほしいと思っている。これからの時間はあまり残っていないが、学生たちとの縁

を本当に大切にしたいと思う。

そして私の妻は大学の配慮で日本語の勉強ができる機会を持つことができ、上手ではないが生活日本語はできるようになった。そのおかげで、今では日本人々に韓国語を教えている。それもまた、大切な縁になるだろうと思う。

日本での留学時代に出会ったことが縁となって、今までずっと連絡を取り交わしていた同級生(東京、大阪在住)たちと熊本に集まって、30年ぶりに一緒に旅行をした。台風の影響で計画どおりに進められなかったのだが、私と同じように年を重ねた同級生の顔に浮かぶしわに目が止まりながら、学生時代の話で楽しい時間を過ごすことができた。歳月の流れを止めることはできないが、それでもその頃の姿が残っていて嬉しかったし、非常に印象的な再会だった。

熊本といえば、美しい自然、田園風景、古めかしい路面電車など、再び訪れたい郷土のような都市であった。熊本での1年間の生活を契機に私も少し余裕を持って生きていく方法を学んだようだ。私が出会った人たち、いい笑顔と暖かい心を持った人々、その人たちとの縁を生涯持ち続けたいと思う。

最後に、熊本学園大学の発展と熊本の復興を心からお祈りします。



韓国語クラスの学生たちと



早稲田大学大学院時代の同級生たちと

熊本印記

深圳大学 李 健

【2017年3月～2017年8月 中国・交換教員】

熊本印記

李 健

2017年、匆匆间熊本半年、深圳也已经半年。不时看到朋友们发出的朋友圈，一会儿是花开了，一会儿是果子熟了，一会儿是叶子黄了，一会儿已经是冬天深了。那座城，那些人，那些景物故事，仿佛就没有离开过。

熊本这座城市，我是在确定要来的时候才了解的，才知道发生了地震，才知道那座闻名遐迩的熊本城受损了，才认识了那只萌宠的熊本熊。来了以后，开始慢慢的爱上了这座宁静而又古老的城市。穿过城市的缓缓的电车，穿越海滨、山川、乡村的慢行的火车，让我深深地感受了“从前的天色变得慢，车、马、邮件都慢”的日子。熊本特色的拉面和乌冬，遍布大街小巷的各种特色饮食，干净卫生的就餐环境，还有从内心洋溢出来的亲切的笑容，让我虽然言语不通却时刻感受到温暖。

熊本城并不大，却有很多的高校，我所在的熊本学園大学是其中一所极具特色的大学。校园里高大粗壮的银杏树、樟树告诉着人们学校的历史；以商科为学科特色的学校，却有着浓厚的人文底蕴。漫步校园，学生们充满朝气的身影在教室、图书馆、学生活动中心、各种运动场馆穿行，循规蹈矩却又活力充盈。

一个地方给了你美好的记忆和感觉，说来不外乎就几个元素：人物、食物、景物、事物。这座美好的城里，同样美好的还有那些可爱的人们。不能忘记国际交流课北原老师圆圆的笑脸，给我在工作和生活中无微不至的关心和帮助；因学习日语而结缘的盐入老师，冲淡平和的笑容、专业认真的教学态度，从学生们对她的喜爱和感谢就能知道她的善良和对我的帮助之大。还有许许多多的人和事无法一一细数，会说汉语的老师们只要有机会就会给我提供各种信息和帮助，不会汉语的老师们相逢一笑，在笑容里传达对我的热情和关心。

最让我印象深刻的是有幸参加了日本茶道的社团活动。我是潮汕人，从小就喜欢中国茶和茶文化，这次到日本来，我心心念念的一个愿望是学习日本的茶道，没想到我竟然梦想成真了，熊本学園大学就有茶道社团，我忐忑地提出了学习的申请，得到了老师和同学们的热情帮助，让我这个日语为零的人，在茶道社团里学习了一个学期。学习过程中给我印象最深的是茶道老师佃先生，他无私地为学園大学开设了近三十年的茶道课程，每个星期一次，每次4个小时的教学时间，除了他之外，他还带着其他三位老师一起教学，她们都已经过了古稀之年，却精神矍铄乐观奉献，一丝不苟地向学生们传播着传统的茶道文化，遵循传统却又耐心温暖，用他们的专业和专注引导着学生们一步步迈进传统茶道之门，给我留下了深刻的印象和深深的感动。

这半年在我的人生中是短暂的，但又是极度丰满充实的，每每回味起来，犹如喝了一壶好茶，齿颊留香，余韵悠长。感恩人生中的每一个遇见，感恩有你！

2017年は慌しく熊本での半年が過ぎ、そして深圳でもすでに半年が過ぎた。たびたび友人の SNS を見ていると、花が咲いたかと思うと、果実が熟し、木の葉が色づいたかと思うと、すっかり冬が深まっていたりする。あの街、あの人、あの風景と思い出は、まだ私から離れていつてはいないようだ。

熊本については、地震が起きたということも、有名な熊本城が大きな被害を受けたことも、あの人気キャラクターくまモンのことも、熊本へ行くと決めてから初めて知った。来日してから、少しずつ静かで古いこの街が好きになった。街中をゆっくりと横切る市電、海辺や山、川、田舎をのんびり走る列車は、私に深く‘生活リズムがゆっくりとした日々’を感じさせてくれた。熊本のラーメンやうどん、街の至るところにある特色ある食べ物、清潔で衛生的な環境、

そして親しみのある微笑みは、たとえ言葉は通じなくても絶えず私を温かい気持ちにさせてくれた。

熊本の街は大きくはないが、たくさん的高等教育機関があり、私が入籍した熊本学園大学はその中のたいへん特色のある大学であった。キャンパスには、背が高く太く逞しい銀杏の木とくすの木があり、それらは人々に大学の歴史を語ってくれている。そこは、商科を特色とする大学として、濃厚な文化的背景を有していた。構内を歩けば、教室や図書館、学生会館、各運動施設を行き交う学生たちは元気で活気に満ち、規範に従い行動しながらも、それでいてはつとつと力がみなぎっていた。

ある場所が美しい記憶と感覚を与えてくれる。それは他にもない人、食べ物、風景そして事柄のいくつかの元素による。この美しい街において、美しいものと言えばあの愛すべき人たちだ。仕事から生活のことまでお話をしてくれた国際教育課の北原さんの円い笑顔顔を忘れない。日本語を学んだことで親しくなった塩入先生は、いつも穏やかな笑顔で、授業に対して大変真面目であり、学生たちに慕われているのがわかった。その度に私も彼女の優しさと彼女に助けられていることの大きさを感じた。まだまだたくさんの人たちとの思い出があり、一つ一つ細かくあげられないが、中国語のできる教職員の方々は機会さえあれば私に色々なことを教えてくれたし、中国語ができない方々は会えば微笑み、笑みからは、私への優しい気遣いが伝わってきた。

最も印象深かったのは、大学の茶道部の活動に参加できたことである。私は中国潮汕の出身で、小さいときから中国のお茶と茶の文化が好きだった。今回日本に来てからずっと日本の茶道を学びたいと思っていたのだが、まさか夢が現実になるとは思わなかった。熊本学園大学に茶道部があると知り、いてもたってもいられず入部を申し込んだ。先生と部員の皆さんの温かいサポートのおかげで、日本語ゼロのこの私が茶道部で1学期間学ぶことができた。学びの課程で最も印象に残ったのは、茶道の先生である佃先生との出会いである。彼は30年近く私心なく学園大の茶道部のために、毎週1回4時間の稽古をつけてくださっている。佃先生以外にも、3人の先生方が一緒に教えてくださる。彼女たちはすでに古希を過ぎておられるのだが、かくしゃくとされ、楽観的で献身的であった。学生たちに伝統的な茶の湯文化を伝えるのに少しも手を抜くことがなく、伝統に従う厳しさがあながらも我慢強く温かい。先生方の専門性とひたむきさが学生たちを一步一步伝統的な茶の湯の道へと導いていることに、私は強い印象と深い感動を覚えた。

この半年は、私の人生の中でとても短く、しかしまた極めて豊かであり、充実したものであった。思い出すたびに、まるで一服の良いお茶を飲んでいるかのように、口の中に香りを残し、長く余韻に浸ることができる。人生の出会い、ひとつひとつに、あなたに、感謝を。



茶道部のみなさんと（筆者は前列左から3人目）



熊本閑記

深圳大学 ^{ショウ}邵 ^{テツ}鉄 ^{ホウ}峰

【2017年9月～2018年2月 中国・交換教員】

熊本閑記

邵鉄峰

到熊本学園大学已有三月。初至日本，让我倍感奇妙的是措置有方的垃圾分类与公交体系，它们总让我下意识地联想到：日本的推理小说之风靡，会否亦与此相通，因为它们不是都涉及时间与空间的细致分割与安排吗？让我甚感兴趣的还有四处可见的古朴清雅的神社，它们会让我想到京極夏彦笔下那些光怪陆离的故事，会让我想到中国各式各样的民间信仰，也会让我看到传统不是放在博物馆里的东西，而就是活生生地活跃于现代社会中的。

熊本学園大学和熊本这座城市一样精致、友好。老师们都很亲切和善，错落有致的树木，红黄交错的叶子则为校园添了几丝雅趣。在熊本，(1) 一大收获是为朋友找到了一些日本学者关于白居易的研究著作和论文，也为自己找到了一些在深圳没有找到的德语材料——感谢图书馆的工作人员的热情、耐心。(2) 最强烈的印象是干净，这似乎已是日本的名片，以至于真的是干净易见脏难寻。这种干净不止是环境上的，也是秩序上的。江津湖的清澈，街道的明净，交通的礼让有序，都让我觉得我的祖国需要学习的还有很多。(3) 感触最深的时候则是在长崎和平公园。我初中的语文课本上收入了日本的粟良平先生的《一碗阳春面》，讲述的是战后的日本人民的坚韧。我站在公园里，想到这里曾经是人间的地狱，看到的却是世界上最为发达的国家之一，尤感佩不已。(4) 很难忘的一次经历是，我到理发店理发，技师在给我洗头时大概是为了防止水溅到我的脸上，就在我的脸上放了一块薄薄的白布。在中国大陆，至少在北部的很多地区，只有在一种场合下会往人的脸上放白布，就是死的时候。我把这次文化冲击告诉了我妻子，她放声大笑。(5) 遗憾的是，由于地震的影响，未能一睹熊本城的风采，只能远观其重檐叠角。

归国在即，希望再来这里。

熊本学園大学に来てもう3か月になる。初めて日本に来て、私がとりわけ見事だと感じたことは、整備されたゴミの分別と公共交通機関のシステムであった。それらはいつも私に日本の推理小説が風靡するものを連想させたが、まさにこれに通じるものではないだろうか。なぜならそれらはどれも時間と空間の緻密な分割と配置にかかわるものだからだ。また私の興味をひいたのは至る所で目にする古めかしく清雅な神社である。それらは京極夏彦が執筆したあの奇怪で不思議な物語を思わせ、中国の種々さまざまな民間信仰を思わせ、私に伝統とは博物館の中に置かれたものではなく、現代社会の中にあって生き生きと活気づいているものだと見せてくれた。

熊本学園大学とこの熊本という都市は、同じように精緻で友好的であった。教職員はみな親切で優しく、校内の木々は入り乱れ趣に富んでおり、赤と黄が交錯する木の葉はキャンパスに風雅なおもむきを添えている。

熊本において(一) 一番の収穫は、友人のために白居易について研究した日本人学者の著作と論文を見つけたこと。また自分のために深圳では見つからなかったドイツ語の資料を見つけたことである。図書館スタッフの熱意と根気強さには大変感謝している。(二) 最も強烈な印象を受けたのは、街のきれいさである。これはほとんどすでに日本の代名詞とも言えるものだが、きれいなところを探すのは易く、汚いところを探すのは難い、まさかこれほどとは。このきれいさというのは環境の面だけでなく、秩序の面でも言える。水が澄み切って美しい江津湖、明るくきれいな街の通り、交通機関における礼儀を尽くして譲るところと秩序正しさもすべて私の祖国には学ばなければならないことがまだ沢山あることを感じさせてくれた。(三) 最も深く感銘を受けたのは、長崎平和公園においてであった。私が中学校のときの国語の教科書には粟良平の『一杯のかけそば』が載っていたが、描かれていたのは戦後の日本国民の強靱さであった。私は公園の中に立ち、ここはかつて人間が経験した地獄であったことを思い、しかし目にしてるのは世界で最も発展した国の一つであり、心から敬服せずにいられなかった。(四) 忘れ難い経験は、理髪店に髪を切りに行ったときのこと。理髪師が私の頭を洗おうとした時、おそらく私の顔に水がかかるのを防ぐため、顔の上に一枚の薄い白い布をかけたのだ。中国大陸において、少なくとも北方の多くの地域では、ある場面においてのみ人の顔の上に白い布をかける。死んだときである。私がこのカルチャーショックを妻に伝えたと、彼女は声を上げて笑った。(五) 残念であったのは、地震の影響により熊本城の風貌を見ることができなかったことだ。ただ遠くからその重なった屋根先を眺めたただけである。

帰国を前にして、またここに来たいと思う。



水前寺公園にて

熊本での生活を振り返って

私の留学体験

カス リサ
Casu, Lisa

【2017年4月～2017年8月
ドイツ・ハインリッヒ・ハイネ大学からの交換留学生】

初めまして！私はドイツのデュッセルドルフから来た、リサです。2017年3月末から8月まで熊本学園大学に留学しました。日本語を勉強したい留学生にとって、熊本は本当に素晴らしい所だと思います。毎日日本人と一緒に生活が出来て、思い出をいっぱい作る事が出来ました。3月末、熊本に着いてから、初めてお花見をしました。熊本に留学する前、二度日本にホームステイした事がありますが、その時は春ではなかったので、とても嬉しかったです。

また、アルバイトもしました。3か月くらいケーキ屋さんで働かせてもらいました。毎日のようにケーキの作り方を教えてもらって、お客様と直に接して、同僚と一緒に面白い話もしました。私のアルバイト先は本当に家族みたいに感じる事ができ、大変ありがたく思っています。最後には「送別会」もしてく

れました。ケーキ屋さんのシェフと同僚と一緒にピザを作って、たくさん笑いました。

その他にも大学の友達と一緒に楽しい時間を過ごしました。伝統的な喫茶店に行ったり、ゲームセンターでゲームをしたり、美味しい食べ物もたくさん食べたりしました。

いつか是非もう一度熊本を訪問したいと思います。皆にもう一度会いたいです。



友達と一緒に初めての「いきなり団子」(筆者は中央)

一生に一度のチャンス

モハメド ガブリエル
Mohammed, Gabriel

【2016年9月～2017年8月
イギリス・セントラル・ランカシャー大学からの交換留学生】

私は2016年9月から2017年の8月まで熊本学園大学に留学しました。最初は一年間は長いだろうと思っていましたが、すぐに熊本の生活に慣れて色々な友達もでき、一年では足りないくらいだと感じました。帰国の時が来ても全然帰りたくありませんでした。

熊本に来た時は私の日本語力は低かったのですが、先生や友達のおかげでだんだん上手になりました。先生達はすごく優しく、色々なことを教えてくださいました。何か分からない所があると、先生方が簡単な日本語に変えて説明してくれました。授業では自分のペースに合わせて教えてもらう事ができます。日本語以外のことも勉強しました。例えば日本文化や歴史はとても面白かったです。

たくさん見学旅行にも行きました。長崎や水俣、

韓国などに行き、日本人の学生や留学生と一緒に楽しみました。熊本学園大学はすごくいい大学だと思います。たくさんサークルがあるから必ず自分の趣味に合ったサークルが見つかります。私はホッケー部に入りました。熊本学園大学の留学生寮である国際交流会館に住んだ事も本当にいい経験でした。世界中からの友達ができ、みんなと仲良くなれて、毎日すごく楽しかったです。熊本はお勧めです！



マステン先生のゼミ、水俣にて
(筆者は後方一番左)



日本での経験

イム ヒョン ホ
林 洵 鎬

[2017年4月～2018年3月

韓国・大田大学校からの交換留学生]

私は留学前は熊本について何も知らず、唯一知っていたのは2016年に大きな地震があった事だけでした。それで、期待も大きい反面、初めての土地で何も知らない状況だったので心配の方が大きかったです。

しかし、熊本に到着し色々な国の友達と話しているうちに、そんな心配はすぐに消えました。日本の学生の手助けもありました。留学生寮に住んでいたため、様々な国の留学生と話す機会があり、それにより自分の考え方が広がったと思いました。本などの情報で色々な考え方があるとは分かっていたつもりでしたが、実際皆と話していると、自分が韓国で当然だとしていた概念が変に思われることもあり、またその逆の場合もあるという事を直に体験しました。

日本の大学生生活も韓国と似ているようで違いました。授業のシステムや部活がたくさんある点が違いました。また、初めは流通やマーケティングの授業を日本語で受けるのは大変だろうと思っていましたが、だんだん慣れて日本語の勉強にも大きく役立ちました。

熊本にいる間に色々な所に行きました。ゼミ旅行では水俣と長崎に行き、福岡と大分には遊びに行きました。また留学期間を通して、日本語能力試験N1の取得に向けて日本語の勉強を一生懸命頑張りました。



寮のキッチンにて（筆者は手前から二番目左）

留学生生活を思う

シュウ ヨウ ホ
周 洋 帆

[2017年4月～2018年3月

中国・北京第二外国语学院からの交換留学生]

月日の経つのは早く、私の1年の留学生活はあっという間に終わりました。振り返ってみると、日本や日本文化を学び、色々な人と出会い、とても素晴らしい時間だったと思います。今後の人生の上でも役立つ事と思います。

留学前は、興奮や不安や期待で、全然眠れませんでした。自分の日本語力に自信が持てず、これからの留學生活が心配でした。しかし、私は決して一人ではありませんでした。周りにたくさんの友達がいて、みんな私と同じ夢を抱き、同じように頑張ってそれぞれの道を歩んでいます。熊本学園大学の先生方は優しく、色々お世話をしてくださり、本当にありがとうございました。初めて両親と離れて暮らした私は、先生や友達なくしては一人の寂しさを克服する勇気は湧いてこなかったと思います。

日本での生活は充実し、新鮮なものでした。休暇中は友達と色々な所に行きました。京都の美し

さには最も深みを感じました。夏でしたが、嵐山の緑の葉は心に沁みるほど美しかったのを覚えています。

私の一年間の留學生活はもうそろそろ終止符を打つところですが、まだまだ日本で体験したい事がいっぱいあります。また、これまで得た経験も絶対に大切にしたいと思っています。



寮にて誕生パーティー（筆者は中央下）



熊本での私の一年

シャ ケイ ヨウ
謝 佳 蓉

[2016年9月～2017年8月]

台湾・崑山科技大學からの交換留学生]

私は2016年の9月から2017年の8月まで、交換留学生として熊本学園大学へ留学しました。熊本に留学する前はこれから未知の世界に行くわけですから、もちろん不安を感じていました。しかし熊本学園大学に来てみると、先生たちと国際交流会館の皆は優しくて家族みたいな存在で、色々手伝ってくれました。皆さんのおかげで、心配と不安な気持ちはすっかりなくなりました。

熊本学園大学での授業は日本語だけではなく、日本の文化も沢山勉強しました。例えば茶道、着物の着付け、俳句、日本の歴史などです。本当に充実した1年間だったと思います。

熊本学園大学での生活は素晴らしく、一番楽し

かった事は色々な国から来た留学生と知り合って、仲良くなる事が出来た事です。この1年間は本当に短かったですが、私にとっては忘れ難い思い出となりました。将来いつかまた熊本に行き、皆に会いたいと思います。



最後の日本語の授業で撮った記念写真
(筆者は前列左から2人目)

交換留学生の生活・貴重な思い出！

グエン ビク フォン
Nguyen Bich Phuong

[2017年4月～2018年3月]

ベトナム・ベトナム国家大学ハノイ校からの交換留学生]

私は常々、熊本学園大学を選んで本当に良かったと思っている。

先生やスタッフのみんなはいつも熱心にサポートしてくれ、周りの人たちも親切に手助けしてくれて、みんなの思いやりを強く感じている。熊本県内の留学生のための活動も豊富で、祭りの前には踊りを練習して、祭りの日は街中を踊って歩いたり、さまざまなお店を見学したりして、一年間で色々な素晴らしい体験ができた。

学園大の国際交流会館と一緒に住んでいる留学生と日本人の学生は仲が良く、寮の生活もとても楽しかった。私は初めて家族から離れての生活だったので、本当に心配していたが、寮のみんなと毎日会って、一緒に買い物をしたり、料理をしたり、お互いの部屋に遊びに行ったり、誕生日パーティーをしたりしていて、家族のようだった。いつも母に面倒を見てもらっていた私は寮のみんなのおかげで、他の人の面倒を見たり、他の人の気持ちを思いやったりすることができるようになったと思う。

一年間の留学はあっという間に過ぎてしまった。貴重な思い出や体験が得られて、素晴らしい人々に出会って、勉強だけでなく、気配りや責任感など心の成長もできたと感じている。



火の国まつりで学園大の留学生と法被を着て街中を踊った
(筆者は手前右)



求心力のある人間

外国語学部英米学科 4年 ^{しん}進 ^{みらい}未来

【2016年8月～2017年5月

アメリカ・モンタナ州立大学へ交換留学】

私は交換留学生として、アメリカのモンタナ州立大学に約10か月間留学しました。端的に感想を述べるなら、「視野が広がったので、留学する価値があった」だと思います。

私が留学した理由は、もちろん語学力を向上させたかったのもありますが、「自分の殻を破ること」にありました。モンタナ州立大学では、すべての授業で学生が手を挙げて質問し、グループディスカッションではきちんと話し合いがされており、「発言すること・積極的であること」に恥を感じる必要がありませんでした。授業においても友達関係においても、努力した分だけきちんと評価される環境は、私の求めていたものでした。

日本では、「英語を話せる」というのはアドバンテージになりますが、アメリカではそれが普通です。英語を話せる以外に私は何ができるのか、何がしたいのか、自分を見つめ直す機会が毎日のようにありました。帰国しての私のアドバンテージは、さまざまな国籍の友達と交流する上で養った「俯瞰的かつ独創的な思考」だと思っています。この思考で、仕事上や友達関係など様々なコミュニティにおいて、新たな刺激を与えられる人間になることが今の目標です。



秋学期の終わりに モンタナ州立大学の像の前で



春休みに ハリウッドサインの前で（筆者は左から2人目）

楽しい留学は自分で作るもの

外国語学部英米学科 4年 ^{よしぎと}吉里 ^{ゆりな}優律南

【2016年8月～2017年4月

カナダ・セント・メアリーズ大学へ交換留学】

私は約8ヶ月間、ハリファックスというカナダの小さな港町に交換留学をさせてもらいました。私より先に留学した友達や先輩が写真をSNS上に載せているのを見て、留学とは「楽しいもの」だと思っ込み、希望と期待を胸にカナダに飛び込んでいきました。しかし、新しい環境での生活が始まり、旅行のようなワクワク感も薄れ、生活していく中で徐々に楽しいだけではないと感じるようになりました。

その理由は、やはり言語の壁です。日本では日常会話を重点的に勉強していなかったため、様々な場面で相手にどう返せばいいのか戸惑うことが多くありました。言語の壁は友達作りに影響し、現地の友達がなかなか出来ず悩んでいました。英語が思うように話せないことで自分自身の自信も失っていきました。

そこで、せっかく留学に来ていて、「落ち込んでい

ただではもったいない、もっと楽しい留学にしたい！」と思ったので、できる限り校内の貼り紙やインターネットから情報をキャッチして積極的に行事やコミュニティに参加をしようと試みました。そこで、知り合いが増えることによって、英語を使う機会も次第に増え、会話に自信が持てなかった初めの頃に比べ、英語を話すことが楽しいと感じるようになりました。思い描いていたものとは少し違っていても、楽しむことができるかどうかは全て自分の行動や思考次第なのではないかとこの留学で学ぶことができました。



仲良い友達とお別れホームパーティー（筆者は2列目中央）



新たな発見と目標

外国語学部英米学科4年 **堀井 咲希**

[2016年9月～2017年5月]

イギリス・セントラル・ランカシャー大学へ交換留学]

私は約9か月間、イギリスのプレストンという町にあるセントラル・ランカシャー大学に留学をしました。留学を決めたのは、大学入学後、国際交流イベントに参加していく中で、もっと色々な国の人と英語でコミュニケーションがとれるようになりたい、異文化を肌で感じたいと思うようになったからです。留学前の目標は、「英語ですらすらと話ができるようになりたい」でした。留学当初は、自分の思いを十分に伝えることができず、歯がゆい思いを何度もしました。このことから、授業以外でも英語に触れる環境を作らなければいけないと思い、イギリス人の友人たちと一緒に勉強をしたり、日本語学科の学生と会話のレッスンをしたりしました。

このような日々の積み重ねを通して、少しずつではありましたが、英語が上達していきました。また、友人たちと英語で会話をしていく中で、日本人とは違う考え方や価値観があることを知りました。「十人十色」という言葉のように、一人一人ものの考え方や価値観、

感じ方は違います。色々な人の考え方を否定するのではなく、固定観念を取り払い、様々な考え方を受け入れ、柔軟に対応できる人間になりたいと、留学を通して思うようになりました。



友人の誕生日にアフタヌーンティーをしに
(筆者は左端)



フラットメイト達と過ごした最後の夜

人と人を繋ぐ

社会福祉学部ライフ・ウェルネス学科5年 **山浦 公太郎**

[2016年2月～2016年11月]

オーストラリア・ラトロープ大学へ交換留学]

“人生とは選択の連続である”そんな言葉があるが、その言葉はあながち間違いではないと肌で感じた留学生活だった。“YES or NO”“やるかやらないか”そのような選択が何度も私の前に現れた。私に大きな変化を与えたのも一つの“選択”によるものだった。

先日、私は地方テレビ局の映像制作部門で内定をいただいた。この仕事を目指そうとするきっかけを

与えてくれたのは間違いなく留学先での経験が大きく影響している。派遣先であるメルボルンは、カフェ文化が根付いた町として有名で、世界各国からバリスタを目指して修行にやって来る人がいるほどである。私はそのカフェ文化に魅せられカフェによく通っていた。そんなある日、1つの“選択”を行った。勇気を出してバリスタと“会話するかしないか”。結果的に一人のバリスタに声をかけた。理由はカフェに関して素朴な疑問があったからである。彼は私に、私と同じようにコーヒーに興味を持っているという人を紹介してくれ、カウンターを挟んで三人で話す機会を作ってくれた。その時、“人と人を繋ぐ”という一つの行為にとっても魅力を感じた。

そこででの選択によっていま私は、内定先である地方テレビ局の仕事に対する期待と熱意を持って学生生活を送っている。これから、テレビの仕事を通してたくさんの「人と地域」、「人と人」を繋げるような仕事ができる人間となるために、残りの学生生活で多くの経験や選択をしていきたいと考えている。



(上)メルボルンマラソンに参加した際



(右)フリンダースストリート駅



語学学校の研修にて(筆者は中央)



留学というステップ

外国語学部東アジア学科 3年 ひらやま あやり
平山 絢梨

[2016年3月～2017年2月]

韓国・大田大学校へ交換留学]

私は1年生の5月に交換留学に応募し、学内選考試験で内定をいただいて2年生のとき韓国の大田大学校へ交換留学に行きました。私の新たな挑戦は、交換留学に応募した時すでに始まっていたように思います。私は高校生の頃から大学在学中に留学するというのを心に決めていました。しかし、大学に入ってから韓国語の勉強を始め、旅行でも1度も韓国に行ったことの無かった私にとって、2年生でいきなり留学をするということにはあまりに高い壁でした。それでも、1年生で選考試験に挑戦し、2年生で留学したことに後悔は全くありません。



修了式で日本人留学生と（筆者は左から4人目）

留学期間中、大田大学校では学内イベントがたくさんありましたが、韓国に行ったばかりの頃は韓国語がほぼ出来ない状態だったため、韓国人や他の国の学生がたくさんいる所に加わることに不安がありました。しかし、そんな私が留学中に心掛けていたことがあります。「やるかどうか考える前にまずやってみる」ということです。これは留学中の私の大きな原動力になりました。

留学はあくまで目標のためのステップであって、ゴールではないと私は考えます。勉強の幅が広がり、将来に対する考え方も大きく変わりました。挑戦することとは決して簡単ではありません。しかし、迷って立ち止まっているままでは何も変わりません。やってみてみたいと思ったその時が一番大きなチャンスです。少しでも留学したいと考えている皆さん、ぜひ挑戦してみてください。その先に大きな喜びと成長があなたを待っています。



学術祭の後の打ち上げにて（筆者は中央）

一年間の留学を通して

外国語学部東アジア学科 4年 かんだ まきこ
神田 蒔子

[2017年3月～2018年2月]

中国・深圳大学へ交換留学]

留学も残り一か月となりました。来たばかりの頃は目に映る景色、肌で感じる空気も聞こえてくる音も日本とは全く異なっておりとても不思議な感じでした。最初の半年間は気持ちに余裕がなく、深圳での生活に慣れるのに必死でした。そんな中、クラスメイトや大学内外で知り合った中国人や韓国人、その他さまざまな国の人との出会いが支えとなり、私を大きく変えてくれました。気が付けば一つのテーブルに異なる国から来た者同士が集い、交流することが日常となりました。

中国に来る前と現在では中国に対する印象もだいぶ変わりました。中国独自の生活システム（例えば電子マネー、自転車シェアリングサービスなど）、日本のアニメ・マンガ・音楽などのサブカルチャーの流通が

自分の想像をはるかに超え、その発展のスピードに日々驚かされています。国を超え友人とたくさんの時間と様々な体験の共有を通して、新たな角度で日本の魅力を発見することもできとても勉強になりました。

一年間の交換留学を終え、一旦は帰国し大学を卒業しますが、すぐに深圳に戻り留学を続けるつもりです。今後も更なる語学力向上を目指すとともに多くの人々との交流を大切にしていきたいと思います。

好好学习，天天上向！！



同い年の韓国からの留学生と（筆者は右側）



日本では気付かない考え方

外国語学部東アジア学科5年 **かすが ゆうすけ**
春日 佑介

【2016年9月～2017年7月

台湾・崑山科技大學へ交換留学】

台湾での留学生活は自分の想像を超えるものでした。言葉はもちろん、生活環境や周りの学生の考え方などはどれも自分にとって新しいものでカルチャーショックの連続でした。確かにそれらは刺激的で新しい経験として学べるものですが、同時に私にとってはいくつもの大きな壁となりました。最初はこの環境に慣れず、消極的になる場面が多かったのですが、時間が経つうちに考え方も変わっていき、その壁を乗り越えることができました。だんだんと友達も増え、毎日が有意義なものになっていき、新



台南少年觀護所を訪問した際に

しい経験をたくさんすることができました。

その中で1番印象に残ってるのは、外国人の日本人に対しての考え方です。崑山科技大學には、日本人が私を含めて数人しかおらず、彼らにとって私が初めての日本人の友達になることが多かったのですが、そのときに聞かれることがあったのは「日本人は私の国が嫌いなのか？」という質問です。私は全然嫌いではなく、むしろ好きでした。彼らの話を聞いてみると、そこにはそれぞれの国の文化や教育などが影響しているのではないかと思います。その時に外国人はもちろん、同じ日本人であっても一人ひとり考え方は違うと痛感しました。

この留学を経験して、周りの人の考え方や意見が自分と違っていても新しい考えとして受け入れ、自分の考え方や感じ方の幅を広げていくことが重要なのだと気付くことができました。



「華語四」のクラス写真（筆者は後列中央）

ベトナムで見つけた新しい私

商学部ホスピタリティ・マネジメント学科4年 **やまなか ちはる**
山中 千春

【2016年9月～2017年6月

ベトナム・ベトナム国家大学ハノイ校へ交換留学】

私はベトナム国家大学ハノイ校に約9か月間留学していました。ベトナムを選んだ理由は周りの人が留学先にあまり選ばないところに行きたい、英語以外の言葉を勉強したいと思ったからです。

留学中、ハノイに住んでいる外国人が母国を紹介するというイベントに、日本人5人とサポーターのベトナム人1人で参加しました。最初はあまり乗り気ではなかったのですが、留学中にしかできない経験なので楽しまなければもったいないと思い直し積極的に準備するようになりました。イベント当日、私たちはソーラン節ともクロを踊り、日本人形などを展示しました。日本のブースはとても人気で展示物の説明や顔出しパネルの写真撮影に大忙しでした。自分から話しかけるのは苦手でも英語も得意ではありませんが「写真撮りましょうか？」と勇気を出して声をかけていました。コミュニケーションを取りながら写真を撮るのが楽しく、「ありがとう」と言ってもらえたときは嬉しかったです。

私は来春から高校生からの夢だった接客の仕事

します。留学で得た経験を踏まえ、もっともっと周りの様子を見て自分から声をかけ、私が何かする事で相手に喜んでもらうことが今後の目標です。



日本チームのみんなと



イベントに遊びに来たクラスメートと（筆者は右側）



周りの人に支えられての交換留学

にしじま あやか
西島 絢香
商学部ホスピタリティ・マネジメント学科4年

【2016年8月～2016年12月

アメリカ・ウィスコンシン大学オークレア校へ短期交換留学】

アメリカでの短期交換留学を経験して、私は自分
は一人ではないということ学びました。それは、
クラスの授業で感じることができました。クラスメ
イトは15人程で、全員アジア各国から語学の勉強に
来ている学生達でした。クラスでは一人で課題に取り
組むことはほとんどなく、授業中はもちろんプレゼン
テーションやプロジェクトもチームで作上げるものば
かりでした。特にチーム毎に分かれて10分間のビ
デオを作るプロジェクトでは、一つも楽なこ



キャンパス内の写真

とはありませんでした。毎週チームミーティングを
したり、ビデオ撮影するお店に交渉に行ったりして、
クラスメイトと協力しながら作業を進めていきまし
た。これらはすべて一人では決してできなかったこ
とで、クラスメイトに助けられていることを実感し
ました。

こうした経験から、交換留学ができていることを考
えたとき、日本にいる家族が思い浮かびました。留学
中は辛いことの方が多かったのですが、精神面でのケ
アをしてくれたことが一番の支えになりました。

私は来春には社会人となりますが、一人ではなく
家族や友人、もっと多くの人に助けられていること
を忘れずに頑張っていきたいです。最後に、交換留
学の機会を与えてくれた熊本学園大学、また留学前
から留学中も支えてくれた国際教育課の皆様感謝
しています。



クラスメイトと先生達、チューターとの写真（筆者は後列左から4人目）

サマープログラムに参加して

語学だけじゃない！異文化を通して学んだこと

しおつか りこ
塩塚 莉子
商学部ホスピタリティ・マネジメント学科2年

【2017年8月6日～2017年8月27日

イギリス・セントラル・ランカシャー大学へサマープログラムとして参加】

私がイギリスに短期留学しようと思ったのは、英語
の勉強と英会話のスキルアップを目指す為でした。ま
たホスピタリティ・マネジメント学科として異文化の
おもてなしにとても興味があり、日本のおもてなしと
どのような違いがあるのか肌で感じてみたいという思
いが強くありました。

留学する前は日本ほど丁寧なサービスを行う国はな
いだらうと考えていましたが、実際にイギリスの人と
交流して考え方がガラリと変わりました。私はイギ
リスのおもてなしを受けて、相手に寄り添う温かさ
と、気前の良さが特徴であると感じました。日本のお
もてなしは丁寧で至れり尽くせりというイメージが
あり、また何も言わなくてもホストがゲストの考
えを察しサービスを提供することが良いサービス
であるという傾向があります。それに対してイギ
リスの人は相手と深いコミュニケーションを取るこ
とを大切に、同時にとてもフランクで気前が良い
印象を持ちました。コミュニケーションを通してこ
ちらが求める以上のサービスを提供してくれるとい
う、初めての経験をしまし

た。実際に、店員さんと話をしている明日日本に帰
ることを伝えると商品を無料でサービスしてくれたり、
値引きしてくれたり様々なおもてなしを受けました。

留学を通して語学だけでなく、イギリスの国民性や
文化の違い、日本のおもてなしの違いを体験するこ
とが出来るとも視野が広がりました。



左)
大学のスポーツクラスの写真

下)
サマープログラム終了時にも
らった大学の卒業証書の写真
(筆者は左側)





平成 29 (2017) 年 海外往来

	派遣	受入
1月	<ul style="list-style-type: none"> ■派遣交換留学生の帰国 (韓国・大田大学校 [4名]、中国・北京第二外国語学院 [1名]) 	<ul style="list-style-type: none"> ■JENESYS2016 韓国青年訪問団来学 [引率 2名、学生 34名] (1/25) ■受入れ交換留学生の帰国 (中国・広西大学行健文理学院 [1名])
2月	<ul style="list-style-type: none"> ■サマープログラム NZ コース出発 [引率 1名、学生 22名] ■派遣交換留学生の出発 (豪・ラトロープ大学 [1名]、韓国・大田大学校 [3名]、中国・深圳大学 [2名]、北京第二外国語学院 [1名]、北京外国語大学 [1名]) 	<ul style="list-style-type: none"> ■受入れ交換留学生の帰国 (韓国・大田大学校 [6名]、中国・深圳大学 [1名]、北京第二外国語学院 [1名]、広西大学行健文理学院 [8名]) ■受入れ交換教員の帰国 (韓国・大田大学校 李義澤先生 (2/25))
3月	<ul style="list-style-type: none"> ■派遣交換留学生の出発 (韓国・全南大学校 [1名]) 	<ul style="list-style-type: none"> ■受入れ交換教員の来熊 (中国・深圳大学から李健先生 (3/8)、韓国・大田大学校から申宰秀先生 (3/9)) ■受入れ交換留学生の帰国 (ベトナム・ベトナム国家大学ハノイ校 [1名]、中国・広西大学行健文理学院 [4名]) ■受入れ交換留学生の来熊 (韓国・大田大学校 [4名]、中国・深圳大学 [2名]、北京第二外国語学院 [1名]、ベトナム・ベトナム国家大学ハノイ校 [1名]、ドイツ・ハインリッヒハイネ大学 [1名])
4月	<ul style="list-style-type: none"> ■派遣交換留学生の帰国 (カナダ・セント・メアリーズ大学 [1名]) ■外国語学部長期海外研修・海外インターンシップ出発 (カナダ・ビクトリア大学 [学生 8名] (1学期間)) 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ■派遣交換留学生の帰国 (米・モンタナ州立大学 [1名]、インカーネットワーク大学 [1名]、カナダ・セント・メアリーズ大学 [1名]) 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ■派遣交換留学生の帰国 (米・モンタナ州立大学 [2名]、英・セントラル・ランカシャー大学 [2名]、ベトナム・ベトナム国家大学ハノイ校 [1名]) 	<ul style="list-style-type: none"> ■中国・深圳大学中国経済特区研究センター (19名)、韓国・全南大学校経営研究所 (4名) 訪問団来学 (6/2～6/4)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ■日本語教員養成課程・日本語教育演習・海外実習 (ニュージーランド・クライストチャーチ工科大学) [2名] (7/29～8/15) ■派遣交換留学生の帰国 (台湾・崑山科技大学 [1名]、オーストラリア・ラトロープ大学 [1名]) ■外国語学部韓国海外研修 (韓国・梨花女子大学校 [30名]) (7/31～8/23) ■外国語学部長期海外研修・海外インターンシップ帰国 (7月) (カナダ・ビクトリア大学 [8名]) 	<ul style="list-style-type: none"> ■中国・上海市立文綺中学校中学生訪問団来学 (7/3) ■台湾・崑山科技大学副学長一行来学 (7/27)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ■派遣交換留学生・短期交換留学生の出発 (米・モンタナ州立大学 [2名]、インカーネットワーク大学 [1名]、ウイスコンシン大学オークレア校 [1名]、カナダ・セント・メアリーズ大学 [1名]) ■外国語学部アメリカ海外研修 (米・ベセル大学 [14名]) (8/1～8/22) ■サマープログラム イギリスコース出発 [17名] (8/6～8/27) ■外国語学部中国海外研修 (台湾・国立台湾師範大学 [15名]) (8/6～8/27) ■経済学部国際インターン実習 (カンボジア [学生 21名]) (8/14～8/28) ■海外就業体験プログラム (香港 [6名]) (8/15～8/22) 	<ul style="list-style-type: none"> ■韓国・大田大学校総学生会代表団来学 [引率 5名、学生 20名] (8/7～8/9) ■台湾・崑山科技大学訪問団来学 [学生 3名、引率 1名] (8/22) ■受入れ交換留学生の帰国 (カナダ・セント・メアリーズ大学 [1名]、英・セントラル・ランカシャー大学 [1名]、台湾・崑山科技大学 [2名]、ドイツ・ハインリッヒハイネ大学 [1名])
9月	<ul style="list-style-type: none"> ■外国語学部長期海外研修・海外インターンシップ出発 (カナダ・ビクトリア大学 [9名]) ■経済学部国際研修 (米・ニューヨーク、ロサンゼルス [21名]) (9/3～9/15) ■日本語教員養成課程・日本語教育演習・海外実習 (韓国・大田大学校 [3名]) (9/16～10/3) ■社会福祉学部海外フィールドワーク (韓国・順天郷大学校 [11名]) (9/18～9/20) 	<ul style="list-style-type: none"> ■受入れ交換留学生の来熊 (カナダ・セント・メアリーズ大学 [1名]、英・セントラル・ランカシャー大学 [1名]、オーストラリア・ラトロープ大学 [1名]、台湾・崑山科技大学 [1名]、中国・広西大学行健文理学院 [2名]、大連工業大学 [3名]) ■受入れ交換教員の来熊 (中国・深圳大学から邵鉄峰先生 (9/7))
10月		
11月		<ul style="list-style-type: none"> ■韓国・大田大学校学生研修団来学 [引率 1名、学生 10名] (11/15)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ■派遣交換留学生の帰国 (韓国・全南大学校 [1名]) ■外国語学部長期海外研修・海外インターンシップ帰国 (12月～2月) (カナダ・ビクトリア大学 [9名]) 	<ul style="list-style-type: none"> ■韓国・順天郷大学校学生研修団来学 [引率 2名、学生 20名、通訳 2名] (12/15～12/16)



平成 29(2017) 年度 研修団往来

受 入	研修団名	研修期間	期間	団員数
	大田大学校総学生会代表団	8月7日(月)～8月9日(水)	3日間	学生20名、引率5名
	大田大学校学生研修団	11月15日(水)	1日間	学生10名、引率1名
	順天郷大学校学生訪問団	12月15日(金)～12月16日(土)	2日間	学生20名、引率2名、通訳2名

派 遣	研修団名	研修期間	期間	研修・派遣先	学生数
	日本語教育実習(NZコース)	7月29日(土)～8月27日(日)	30日間	NZ・クライストチャーチ工科大学	3名
	外国語学部韓国海外研修	7月31日(月)～8月23日(水)	24日間	韓国・梨花女子大学校	30名
	外国語学部アメリカ海外研修	8月1日(火)～8月22日(火)	23日間	USA・ベセル大学	14名
	外国語学部中国海外研修	8月6日(日)～8月27日(日)	22日間	台湾・国立台湾師範大学	15名
	サマープログラム	8月6日(日)～8月27日(日)	22日間	英国・セントラルランカシャー大学	17名
	経済学部国際インターン実習	8月14日(月)～8月28日(月)	15日間	ベトナム・カンボジア	21名
	海外就業体験プログラム	8月15日(火)～8月22日(火)	8日間	中国・香港	6名
	経済学部国際研修(アメリカコース)	9月3日(日)～9月15日(金)	13日間	USA・ニューヨーク・ロサンゼルス	21名
	日本語教育実習(韓国コース)	9月10日(日)～9月26日(火)	17日間	韓国・大田大学校	3名
	社会福祉学部海外フィールドワーク	9月18日(月)～9月20日(水)	3日間	韓国・順天郷大学校	11名

< 海外への派遣学生数 >

	派遣先大学名	平成 29 (2017) 年度				平成 28 (2016) 年度まで					
		交換	短期交換	短期認定*3	サマーP*2	交換	短期交換	短期認定*3	サマーP*2	HSP*1	短期派遣
アメリカ	モンタナ州立大学	2				72					25
	モンタナ大学					21					
	キャロル大学					29					22
	ロッキーマウンテン大学										4
	インカーネットワード大学	1				33					
	アワーレティオプザレイク大学(熊本市交流事業)					7					
カナダ	ウィスコンシン大学オークレア校	1				10	7				
	セント・メアリーズ大学	1				30	2				
イギリス	カールトン大学					10					
	リバプールジョンモーズ大学					41	11				91
	アルスター大学					8					19
フランス	セントラル・ランカシャー大学				17	6			54		
	リヨン商科大学					2					
ドイツ	ボワチエ大学					1					
ドイツ	ラインランド・プファルツ州立経済大学										16
オーストラリア	ラトロープ大学	1				31	4			124	
ニュージーランド	ユニテック工科大学					27	8		22	103	14
	クライストチャーチポリテクニク工科大学			7		1		1			
韓国	大田大学校	3				85					
	全南大学校	1									
	深圳大学	2				55					
	中国人民大学					8					
	北京外国語大学	1				12					
中国語圏	北京語言大学					11					
	北京第二外国語学院	1				11					
	広西師範大学(熊本市交流事業)					9					
	崑山科技大學					3					
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校					9					
タイ	チュラロンコーン大学					4					
	合計	14	0	7	17	536	32	1	76	227	191

※ 網掛けの協定校は、現在交流を行っていない大学
 ※ 短期派遣留学(2ヶ月派遣)は、平成18年度をもって終了
 ※ 短期交換留学(1学期派遣)は、平成20年度開始
 ※ 短期語学ホームステイプログラムは、平成24年度以降の実施なし
 ※ サマープログラム(1ヶ月派遣)は、平成25年度開始
 ※ 短期認定留学は、平成28年度開始

*1: 短期語学ホームステイプログラム
 *2: サマープログラム
 *3: 短期認定留学



平成 29(2017) 年度 出身国・地域別外国人留学生数

春学期

(5月1日現在)

国 籍 (国・地域名)	学 部 学 生					研 究 生			大 学 院 生					交 換 留 学 生	合 計	
	1	2	3	4 以上	計	学部	院	計	1	修2 以上	博1	博2	博3 以上			計
中 国	2	2	1	9	14	1		1	1			2		3	3	21
韓 国		1			1								1	1	4	6
台 湾									1					1	2	3
ベトナム															1	1
カ ナ ダ															1	1
イギリス															1	1
ド イ ツ															1	1
合 計	2	3	1	9	15	1	0	1	2	0	0	2	1	5	13	34

【7カ国・地域 34名】

秋学期

(10月1日現在)

国 籍 (国・地域名)	学 部 学 生					研 究 生			大 学 院 生					交 換 留 学 生	合 計	
	1	2	3	4 以上	計	学部	院	計	1	修2 以上	博1	博2	博3 以上			計
中 国	2	2	1	7	12	2		2	1			2		3	8	25
韓 国		1			1								1	1	4	6
台 湾									1					1	1	2
ベトナム															1	1
カ ナ ダ															1	1
イギリス															1	1
オーストラリア															1	1
合 計	2	3	1	7	13	2	0	2	2	0	0	2	1	5	17	37

【7カ国・地域 37名】

※「留学」の在留資格を持っている学生のみ。
※休学者を含む。

国際交流 写真館

Photo Gallery

Cherry-blossom Viewing



Emergency Orientation



Field Trip



Hinokuni Festival



Speech Contest



Japan Cultural Experience



Bus Trip to Mt. Aso



International Students Symposium





平成29(2017)年度 留学生の主な参加行事

名 称	主 催	内 容	期 日
お花見会	熊本県日韓親善協会	韓国からの留学生と先生との交流	4月2日(日)
交換留学生歓迎会	熊本学園大学国際教育課	新入交換留学生の歓迎会	4月8日(土)
新入留学生歓迎ピクニック	熊本学園大学国際教育課	江津湖散策と熊本市動植物園散策	4月15日(土)
第55回熊本県日韓親善協会懇親会	熊本県日韓親善協会	熊本県内大学留学生への激励と交流	4月26日(水)
ウェルカムパーティー	熊本留学生交流推進会議	新入留学生との交流会	5月27日(土)
第27回外国人留学生弁論大会	熊本学園大学国際交流委員会	本学留学生の日本語による弁論大会	6月17日(土)
交換留学生送別会	熊本学園大学国際教育課	帰国する交換留学生の送別会	7月29日(土)
第40回夏の国祭りおてもやん総踊り	大学コンソーシアム熊本	コンソ熊本・留学生チームとして参加	8月5日(土)
交換留学生歓迎会	熊本学園大学国際教育課	新入交換留学生の歓迎会	9月30日(土)
第68回建国記念のお祝い国慶節	熊本華僑華人総会	国慶節を祝う会	10月1日(日)
WAの心で～お・も・て・な・し～	大学コンソーシアム熊本	熊本の観光地見学や日本の伝統文化体験	10月1日(日) 10月7日(土)
日本文化体験 Day	熊本市国際交流振興事業団	着物の着付けや茶道体験	10月8日(日)
ウェルカムパーティー	熊本留学生交流推進会議	新入留学生との交流会	10月21日(土)
秋の新入留学生歓迎バス旅行	熊本学園大学国際教育課	大観峰と黒川温泉へバス旅行	11月2日(木)
人吉・球磨の文化と蔵めぐり	大学コンソーシアム熊本	国宝 青井阿蘇神社や焼酎蔵見学	11月19日(日)
多文化共生留学生シンポジウム	熊本留学生交流推進会議	第一部：「留学生と語ろう！世界の食文化 ～私の思う日本の餅 (Mochi)～」 をテーマに発表 第二部：餅つき	12月9日(土)
成人式	日本現代和装研究会	着物の着付けと式典出席	1月8日(月)
留学生と話そうサロン ベトナム	熊本市国際交流振興事業団	ベトナムの文化や習慣の紹介	1月20日(土)
第36回熊本春節祝賀会	熊本県日中協会	中国人留学生と協会員との交流	2月21日(水)
留学生交流会 & お花見会	大学コンソーシアム熊本	お花見を通しての留学生同士の交流	3月27日(火)



INTERNATIONAL EXCHANGE PROGRAMS COMMITTEE MEMBERS

国際交流委員会メンバー

(2017年4月～)

委員長 カーク・マステン

商学部 土井 文博 松尾 健治

経済学部 朴 哲洙 吉川 勝正

外国語学部 小笠原 淳 クリスティ・プロヴェンザーノ

社会福祉学部 高木 享 陳 宇澄

大学院 小野 浩 出家 健治

国際教育課 松隈 英明 大澤 孝

OFFICE OF INTERNATIONAL EDUCATION STAFF

国際教育課スタッフ

(2017年4月～)

課長 松隈 英明

係長 大澤 孝

北原 かおり

高井 智代

古家 由美子

国際交流会館 前田 清明

熊本学園大学 国際交流レター 2017 vol.39
編集・発行 熊本学園大学国際教育課

平成30(2018)年3月発行



熊本学園大学

KUMAMOTO GAKUEN UNIVERSITY

〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5番1号

TEL 096-364-5161(代)

FAX 096-372-4112

[ホームページ] <http://www.kumagaku.ac.jp/office/kokko>

[facebook] <https://www.facebook.com/kumagakukokko>